



インド

ニューデリー

2012年8月～2015年3月滞在

子どもの年齢 長女:小2～小4 日本人学校

(2019年記)

基本情報

気温	夏(4月～7月) 暑い時は50度近くになるため、学校はこの時期、夏休みになる 雨期(7月中旬～9月) この時期が終わる頃にデング熱が流行する 秋、冬(9月～3月)寒い時は0度になるときもあり、暖房設備がないところもあり非常に寒い
緊急電話	救急車はたまに見かけるが、交通渋滞がひどいため、緊急でも使用しない
電圧	電圧 220～240V コンセント B3、BF、B、Cタイプの変換プラグが必要 日本の電化製品(ドライヤー、炊飯器など)を使用するため、変圧器も必要
水	水道水は飲めない 飲み水は水道に浄水器をつけ、2～3か月に1度フィルター交換 もしくはペットボトル、ウォーターサーバーを購入 シャワー時も口に入らないようにする

買い物

日本の物	やまとや(日本食材屋)になんでも売っているが、日本の2～3倍以上の価格 キムズマート(韓国食材屋)で豆腐、野菜、牛乳などが買える
食料品	食料送付制度がある場合は利用するが、タイやシンガポールに買い出しに行くことが多い 冷凍の魚やエビなどを売っているインド人がいた
日用雑貨	現地で購入できるが、紙類(トイレtpーパー、ティッシュ)は特に品質がよくない
学用品	現地で購入できるが、日本から持って行った方がよい 水着、水泳用品(ゴーグル、帽子、タオル)、ランドセル、書道用品、絵の具セット、縦笛、ピアノカ、三角定規、コンパスなどは日本から持参する
衣類	現地のモールで購入できる ギャップ、ZARAなどの海外ブランドもあり アノーキーなどの現地ブランド服も購入できる

交通

公共交通	駐在員は使用しない 家族車、社有車で移動
運転免許	持っていても、インドの交通事情では運転は難しい

住居

日本人が多く	デリーのディフェンスコロニー、パサントビハール、アナンドニケタンなどの戸建て
--------	--

住むエリア	グルガオンのマンション(ベレーラ、ピナクル、パークプレイス、アイコン、パームスプリングなど)
使用人	ほとんどの家が住み込みメイド、通いのメイドかスウィーパーがいて、コックを雇っている家庭もあり
治安	戸建てやマンションにはセキュリティガードが在駐
セキュリティ	夜に繁華街に一人で出かけない限り、治安はそれほど悪くない

教育

通った学校	日本人学校
通った学校の詳細	幼稚園から中学校まで同じ敷地内(バサント・クンジ)にある 全校生徒 250 人前後 一学年 1~2 クラス
塾	英会話、ヒンディー語、公文
家庭教師	塾(さくら、市進、個別指導塾)
習い事	ボリウッドダンス、バラタナ、ピアノ、テニス、バレエ、サッカー、ヨガ、バスケ、柔道、水泳など
アドバイス	日本人学校以外の選択肢として、アメリカンスクール、ブリティッシュスクールのほかに、現地のインターナショナルスクール(パスウェイズ、ランサーズ、ゴエンカ、エクセルシオールなど)があります。 習い事はたくさんありますが、英語の勉強も兼ねて、インド人が先生として教える習い事をしていました。

病院

医療事情	大きい病院はフォルティス、アポロ、マックス、歯科矯正が安い
日本人医師	当時は日本人医師が一人いた。会社が契約している通訳などを連れて、病院に行く人が多い。
薬品	処方箋がなくても買えるが、できるだけ常備薬は日本から持参した方がよい

交流

日本人	日本人会、さくら会、日本人学校、習い事
現地の人	学校行事、習い事、会社
駐在外国人	学校行事(文化祭など)、グルガオンコネクション、習い事

伝えたいこと

最初はかなり覚悟して渡印しましたが、私たちの住む頃には以前よりは随分住みやすくなったと思います。マンションは冷暖房も完備されてましたし、スーパーやモールも沢山できて、日本と同じような生活とまではいきませんが、それほど不自由は感じませんでした。ただ、水が飲めないことと衛生面にはかなり気を付けました。雨期が終わるころから流行りだすデング熱には、とくに注意が必要でした。とにかく、虫よけをして蚊にさされないことです。

私たちの駐在していたころよりもさらにPM2.5の数値があがっているようで、警報が出ている時だけでなく普段も外出時はマスクが必須です。

日本と違い、時間にルーズなインド人に戸惑うこともあります。言われているほど治安も悪くないですし、「郷に入れば郷に従え」と割り切って生活すれば、案外楽しく過ごせると思います。子どもにとっても、インドでの生活は人生において、いい経験になると思います。